

保証書別添付

このたびは車載用リアビューカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤ったお使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明します。

△ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
△ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明します。(次は図記号の例です)	
○ 禁止	してはいけない内容です。
! 実行	実行しなければならない内容です。
△ 注意	気をつけていただく内容です。

△ 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

規定期量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、
故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの
販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。
(規定容量:1A)

機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいもの
などがいると、動作不良になるば
かりでなく、ショートや絶縁不良
で発熱し、火災や発煙・発火、感電
の原因になります。飲み物などが
かからないようにご注意ください。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの
保安部品のボルトやナットを使
用して取り付けると、事故の原
因となります。

目視による安全確認をする

モニター画面だけではなく、必ず目
視による安全確認をしてください。
カメラの死角になっている人や物に
ぶつかる恐れがあり交通事故の原
因となることがあります。

取り付け・配線後は、車の電装品が
正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、
ホーン、ハザード、ウインカー
など)が正常に動作しない状態
で使用すると、火災や感電、事
故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げ
るにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブ
レーキペダル・足などに巻きつ
かないように引き回し、まとめて
固定しておくなどしてください。
事故やけがの原因になります。

△ 警告

車のパイプ類・タンク・電気配線な
どの位置を確認して取り付ける
車体に穴を開けて取り付ける場
合は、パイプ類・タンク・電気
配線に干渉や接触しないよう
にしてください。また、加工部のサ
ビ止めや浸水防止の処置を施し
てください。火災や感電、事故の
原因になります。

本機はDC12V-24Vマイナスア
ース車で使用する
DC12V-24Vマイナスアース車
専用です。上記以外のお車には使
用できません。火災や故障の原因
となります。

故障や異常のまま使用しない
煙が出る、変なにおいがする等
の異常な状態で使用すると発火
などの原因となります。
●直ちに使用を中止してお買い上げの販
売店にご相談ください。

分解や改造はしない
内部には電圧の高い部分があり、
火災、感電の原因となります。
●内部の点検・調整・修理は販売店にご
依頼ください。

使用しないコードの先端などは、絶
縁する
被覆がない部分が車の金属部に
接触しないように、テープなどで
絶縁してください。ショートによ
り火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は必ずバッテ
リーのマイナス端子を外しておく
バッテリーのマイナス端子をつないだま
ま配線・取り付け作業をすると、ショート事
故による感電やけがの原因になります。

車載用以外には使用しない
車載用以外(例えはレジャーポ
ートやアウトドアなど)に使用
すると、発煙・発火、感電やけ
が、故障の原因になる場合があ
ります。

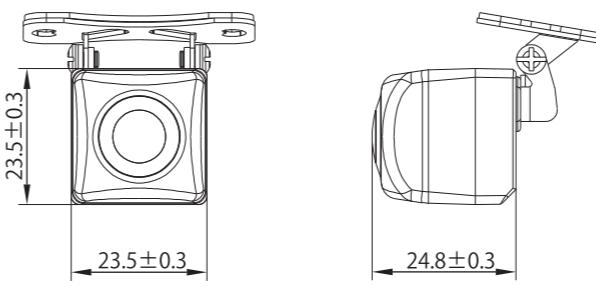
指示に従って正しく配線・取り付け
を行う
説明書に従って正しく配線・取
り付をしないと火災や事故の原因
となります。

コードをかみこませたり、引っ張っ
たり傷つけない
ショートや断線により、発火や
故障の原因となることがあります。
●禁止

水のかかる場所や湿気、ほこり、油
煙の多い場所に取り付けしない
高圧洗車などで水がかかったり、
湿気、ほこり、油煙などが機器内
部、ヒューズボックスに入ると、発
煙、発火、感電やけが、故障の原因
になることがあります。

仕様

■ 使用電源 DC12V/24V
■ 映像出力 NTSC
■ 映像素子 1/4インチカラーCMOS
■ 画素数 約35万画素
■ 画角 水平約140° 垂直約115° 対角約170°
■ フレームレート 30fps
■ 解像度 720H x 480V
■ f値 2.6
■ 最小照度 1.0 lux
■ 防水機構 IP67
■ 消費電流 45mA
■ 動作温度 -30~70°C
■ 保存温度 -40~80°C
■ 消費電力 約0.5W
■ 本体サイズ 約23.5(W)×23.5(H)×24.8(D)MM
■ 本体重量 約35g(本体)



販売元：株式会社イノベイティブ販売
〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8
<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ
048-970-5027 (通話料がかかります)
電話受付時間 平日 9:00~12:00、13:00~17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ
cs@innovativesale.co.jp

2020.05

トラブルシューティング

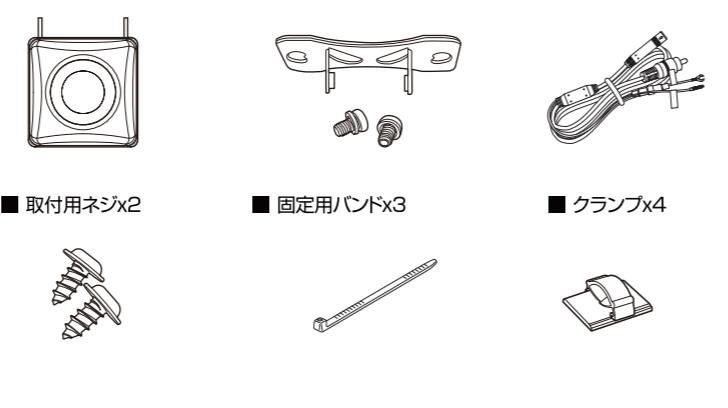
こんなとき	ここをお確かめください	こうしてください
カメラ映像が 映らない	配線が外れている	各コードの接続を確認してください。
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換してください。
映りがわるい	カメラにほこりや泥が ついている	水を含ませて柔らかい布でレンズの汚れを 拭いてください。強くこすると傷の原因にな りますのでご注意ください。
	太陽光や強い光が入射 している	強い光が消えればもとの映像に戻ります。
暗いところを映している		夜間や暗い場所では画面が見えにく ことがありますが、明るい場所に戻れば もどに戻ります。
部分的に明るい光を 映している		暗い場所から明るい場所に移動した場合、 画面が明るくなりすぎる場合がありますが、 暗い場所に移動すると、元に戻ります。

本機のお手入れ

■ ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。
■ 研磨剤が配合された洗剤で拭かないでください。傷の原因となります。
■ レンズ部が汚れているときは、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
乾いた布で強くこすると傷の原因となります。

構成部品

■ リアビューカメラ本体 ×1 ■ ブラケット(3Mテープ付き) ×1 ■ 延長ケーブル ×1
(約1.3m ケーブルを含む) 本体固定ネジ ×2



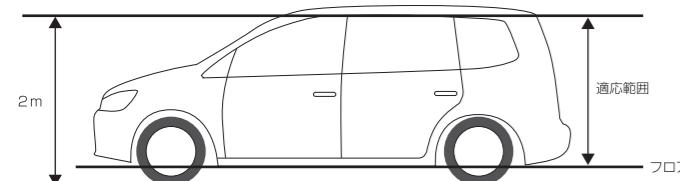
カメラの取り付けかた

取り付ける前

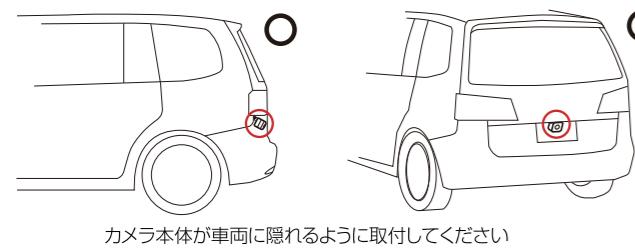
- 接着面の汚れをきれいに拭き取ってください。
- 取り付け位置によっては映像の見え方が異なりますので、事前にテープなどで仮止めし、位置を確認してから取り付けてください。
- 天気の良い日に取り付けをしてください。
- 気温が低い環境や取り付け面の温度が低い場合は、接着力を上げるためにドライヤーなどで取り付け面を温めてから取り付けてください。
- 取り付け後、24時間以内は水に濡らしたり、無理な力を加えないでください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業してください。
- ブラケットの3Mテープは指で触ったり貼り直しをしないでください。
- コーティング(フッ素樹脂処理など)塗装面やガラス面には取り付けないでください。

適応外となる部位

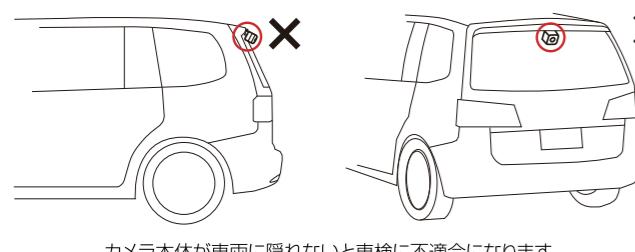
- 高さ2m以上の部分
- フロアラインより下の部分



正しい取付例



誤った取付例



取り付け位置について

2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準※」に準拠した取り付けが必要になります。

取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。

外装の技術基準※(抜粋)

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起も有してはならない。

対象車種

2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。

(乗車定員10人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)

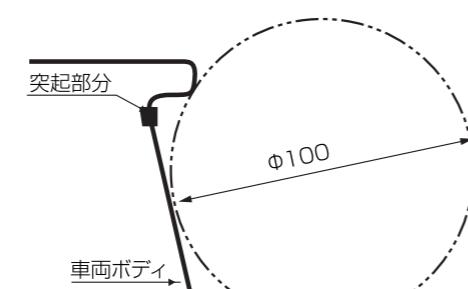
※法規の詳細については、国土交通省のホームページをご参考ください。

国土交通省ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/index.html>

適合する取付例

直径100mmの球体が接触していない



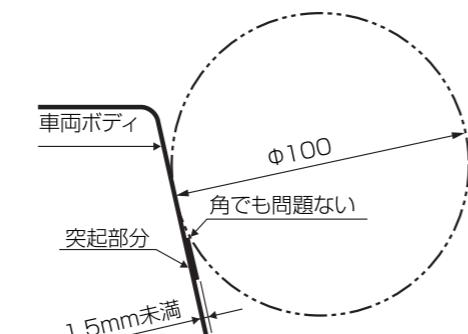
5mm以上の突起部分が、直径100mmの球と接触しているが、接觸部分の曲率半径が2.5mm以上である



5mm以内の突出部分が、直径100mmの球と接觸しているが、接觸部分の角が丸処理されている

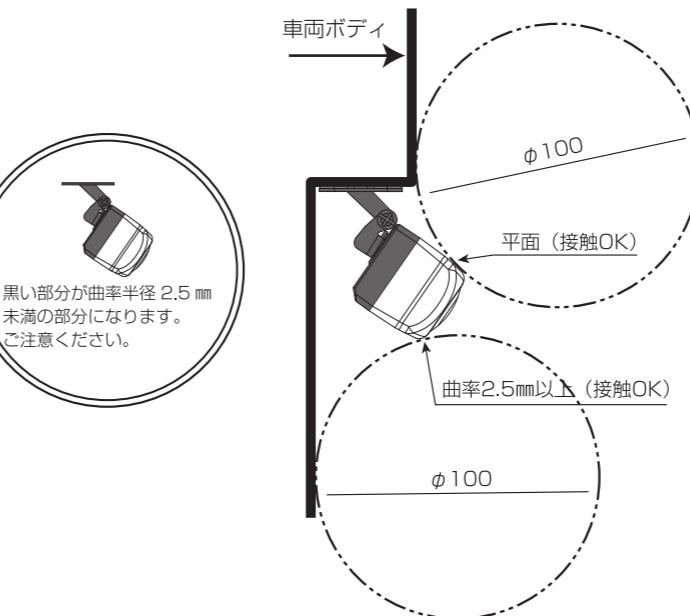


突起部分が1.5mm未満である



取付推奨位置(例)

ナンバープレート周辺など車両の凹部で、ナンバープレートの視認性を妨げない場所に取り付けください。

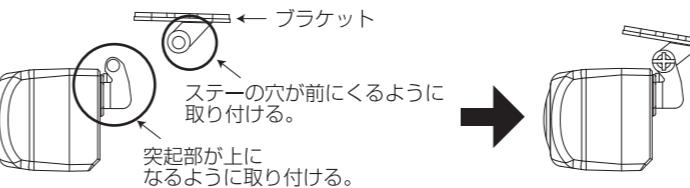


①カメラの位置を確認します

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。
凹凸のない平らな面を選んでください。

②ブラケットにカメラを取り付ける

図のようにU型ブラケットとカメラを取り付けます。ネジを仮止めしてください。
カメラ/U型ブラケットの向きにご注意ください。

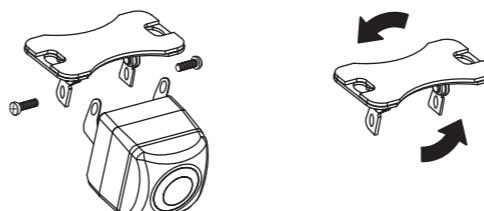


③ブラケットを車体に取り付ける

ブラケットを車体に仮止めして、カメラの角度を調整してください。
角度の調整完了後、ネジをきつく締めてください。
取り付け面の汚れをふき取り乾燥させたあとに、両面テープをはがし、
車両にしっかりと取り付けてください。

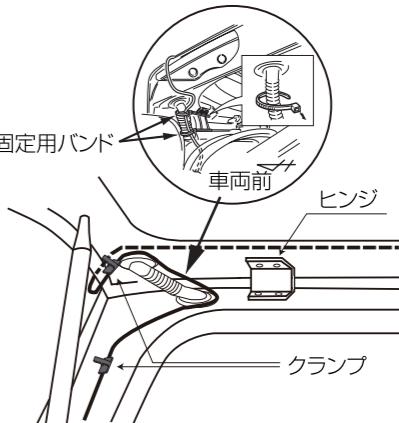


ケーブルとカメラ本体が干渉する場合、本体固定用ネジを外して
ブラケットの向きを変えてお使いください。



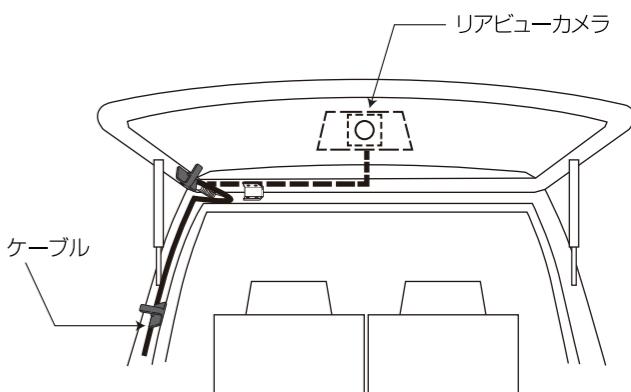
④ケーブルを配線する

バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないか充分に確認してください。傷ができるとカメラ内部に湿気や水が入り、壊れる原因となることがあります。



警告

- クランプは車室外に使用しないでください。車室外に使用すると、国土交通省の定める保安基準に適合しなくなる場合があります。
- 雨水等の侵入を防ぐためランク部分のケーブル引き回しには十分注意してください。



システム接続例

